

JA志賀

No.93
新春号





代表理事組合長

田 端 正 敏

謹んで新春のお喜びを申し上げます。

昨年中は当JAの運営に深いご理解とご協力を賜り心よりお礼申し上げます。

昨年は国政において内政・外交とも視界不良の中で一年と言えました。12月の総選挙では、新たに自公政権が誕生しました。課題を残したままでの出発となり、夏の参院選を控え、安倍政権の真価が問われるのはこれからだと思われまふ。

TPPへの対応、農業者戸別所得補償制度の見直しなど、農政にとつて重要な課題が残されています。新政権で、農業再生に向けた大きな力を引き出していきたいと願っております。

JAをめぐる内外の環境は厳しさを増しており、私どもJAにおいても、急速に進む少子高齢化の波は、農業における後継者不足、耕作放棄地・遊休農地の増加など、農協事業にボデイブローさながらの影響を与えております。

そのような中、昨年葉たばこ廃作地に新規作物として栽培された「能登汐風ごぼう」は、市場の評価も高く、今後増産が見込まれます。

また、10月1日にJA出資型農業生産法人「㈱アグリサポートしか」を設立し、水稲の受委託等に着手するとともに、特産の「ころ柿」の加工にも携わりました。本年度は本格的な参入を目指しており、後継者の育成や生産の拡大など果たしていきたいと思っております。

さらには、6次産業の推進と地産地消が重要視される中、「みちのえき旬菜館」については本年、町当局のご理解により、店舗面積が拡幅されることになりました。面積拡大による品揃えの充実、年間通しての安定供給をより一層心がけていきたいと思ひます。本年度は、当JAにおける第3次中期3カ年計画の初年度であり、5年、10年先の将来を見据えた基礎基盤づくりを考えてまいりたいと思ひます。

JA志賀の発展に向けて引き続き女性参画への推進、地域貢献事業の取組み、JA出資型農業生産法人の展開など、組合員・地域の皆様との絆を大切にし、皆様の声を反映した信頼されるJA運営を目指してまいりますので、今後とも温かいご理解とご協力を賜りたくお願い申し上げます。

組合員の皆様にとり、良き一年でありますよう心からご祈念申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

農業功労者5名に授与

長年にわたり農業に励まれ地域農業の発展にご尽力をいただいた方に対して贈られる「JA志賀農業功労者表彰」授与式が、昨年10月28日、JA志賀農業まつりの特設ステージで行われました。式では各特産物で特に関績のあった受賞者5名に田端代表理事組合長から表彰状と記念品が贈られました。

受賞した皆さんは次のとおりです。

不動 外政さん(白ねぎ)・谷内 賢正さん(甘薯)
前田 光行さん(長なす)・新明 清一さん(西瓜)
久木 昭さん(南瓜) ※順不同



功労者表彰を受賞された方々

農業まつり開催!!

昨年の10月27日(土)、28日(日)、『今年
はかなり違います』をキャッチフレーズにこ
れまで地区別開催されていた秋の総合展示会
から、秋の実りに感謝する農業まつりとして
開催いたしました。特設ステージでの各団体
の出し物、牧村三枝子ショー、飲食コーナー、
子供コーナー、乗馬体験なども設けられ活気
ある農業まつりになりました。たくさんのご
来場ありがとうございました。



牧村三枝子さんと握手!!



乗馬体験 うわっ、高い



熱唱～みちづれ、友禅流し他～



みなさんいかがですか



中セキのさなえちゃん&おにぎり君



加茂太鼓倶楽部「心郷華萌」のみなさん



きらきら kids のみなさん



大念寺八幡太鼓「鼓友組」のみなさん



農産物品評会では、日頃より丹精込めて育
てられた農産物が85点出品され、13名の方が
入賞されました。これらは即日販売され、売
上げの代金は出品者の
ご理解のもと志賀町社
会福祉協議会へ寄付さ
れました。

農産物品評会



もちつき ヨイショッ

能登米生産者大会の開催

昨年12月1日(土)午前10時より、輪島市文化会館大ホールにおいて、能登米振興協議会主催による『能登米生産者大会』世界農業遺産を地域農業に活かす』が開催されました。

本大会は「能登の里山里海」の世界農業遺産認定を契機に、能登の自然や美しい水田景観の維持・保全、将来に渡り持続可能な水田農業の振興の実現に向け、環境に優しい技術の定着、消費者ニーズに対応した安全・安心な米づくりなど「環境と調和した米づくり」を生産者・関係団体が一体となって推進することを目的に開催されたものです。

当日、会場へは能登地区7JAの生産者をはじめ関係者約千人が集まり、JA志賀からは117名が参加しました。

大会では、谷本正憲県知事をはじめ東英一JA石川中央会専務理事、能登地区各市町の首長を来賓に迎え、趣旨説明、基調講演のほか、前東京農大大学長の進士五十八氏をコーディネーターに「世界農業遺産の認定が地域農業の元気をつくる」をテーマとしたパネルディスカッションが開催され、能登と同じく国内初の世界農業遺産の認定を受けた佐渡市

(新潟県)での事例などが紹介され、参加者は熱心に耳を傾けました。

また、大会の最後に「能登米宣言」が発表され、全会一致にて採択され、閉会となりました。

【実証圃の取組み】

平成25年度を普及元年とし、各JAにてエコ栽培基準を基本とした実証圃での試験栽培に取り組んでまいります。

今後、実証圃にご協力いただける生産者の方を募ってまいりますので、是非、ご協力をお願いいたします。



地域の農業、農地は JAが守ります (株)JAアグリサポートしか

1 設立の趣旨

JA志賀管内における生産農業者数は就農者の高齢化や後継者不足により、遊休農地や耕作放棄地が散見される状況にあります。これらの解決の一助として集落営農組織や認定農業者等の地域の担い手による大規模化が進められてはいるものの、こうした組織の多くの構成員や大規模農業者の高齢化も深刻化しており、担い手不足や地域農業の維持・発展の抜本的な対策とは言えない状況です。

このような中、かけがえのない地域資源である農地や自然環境を守り、地域農業の維持・発展を目的とし、農家が安心して農地・農作業を任せられる地域に根ざした組織として設立しました。

2 基本方針

地域の認定農業者や集落営農組織等の担い手と連携し、管内農業の担い手として農地保全管理機能と農作業委託や経営委託の受け皿的機能を有するとともに、地域の雇用の創出にも寄与し、地域農業の維持・発展に貢献します。

3 主な事業の内容

- 農業経営や農作業の受委託
- 農地の保全管理
- 農産物の生産及び販売

4 会社の営業区域

JA志賀の管内全域とします

※設立当初は、モデル地区を設け事業を行い、その後順次拡大していく予定です。

5 役員・社員

代表取締役社長 田端 正敏
取締役 上嶋 都夫・土田 茂樹
社員 泉 好夫

各支店窓口及び本店営農部に設置してあるパンフレットにて、ご確認をお願い致します。詳細はアグリサポートまで。

年金友の会 グラウンドゴルフ

第6回JA志賀組合長杯グラウンドゴルフ大会が昨年9月20日(木)、志賀町ニュースポーツの丘において開催されました。198名の参加により、熱戦が繰り広げられました。結果は次のとおりです。

男子の部

優勝 蟹屋敷辰次 さん
 準優勝 北野 秀雄 さん
 第3位 白山 正志 さん

女子の部

優勝 桶谷 弘子 さん
 準優勝 坂本 邦子 さん
 第3位 花島 敏枝 さん



第8回JAバンク石川「年金友の会グラウンドゴルフ県大会」が昨年10月5日(金)、かほく市高松グラウンドゴルフ場において盛大に開催されました。

秋晴れの中、県内17JAより参加した462名が青旗・赤旗の2コース(男女別)に分かれ熱戦を繰り広げました。当JAでは24名が参加され、竹田 忠さんが赤旗男子の部で優勝しました。成績上位者は次のとおりです。

赤旗コース

男子の部 優勝 竹田 忠 さん
 女子の部 第3位 西村 雪子 さん
 第4位 矢萩 厚子 さん
 第5位 小門前節子 さん
 第6位 保 美代野 さん

青旗コース

男子の部 第9位 石田 洋晴 さん
 女子の部 第5位 板倉ヒデ子 さん
 第7位 上田よし子 さん



**年金友の会
会員募集中**

年金友の会 楽しい企画満載!!

会員の皆様に、日頃の感謝と職員との親睦を深めて頂くため実施しておりますイベント、旅行等企画の一部です。(平成24年度実施)

今後とも会員の皆様に喜んでいただける企画を計画致します。

是非、ご参加下さい。



平成24年度 支店・エリア毎に実施致しました一部です。

- 長良川の老舗旅館『十八楼』宿泊の旅
～郡上八幡散策、ぎふ金華山ロープウェイ～
- 世界一のうずしおと淡路島
～神戸中華街散策、「清盛」ドラマ館、明石架橋～
- こまどり姉妹ショー観劇ツアー『富山観光ホテル』
- 八代亜紀ふれあいコンサートと『片山津温泉 佳水郷』

※会員資格はJAへの年金振込指定を頂いているか、指定申込(予約)を頂いている方が対象となります。

年金振込指定は、JA志賀へ!!

II. 斑点米

(表) 品種別2等以下格付理由割合の3か年の推移

品 種	コシヒカリ									ゆめみづほ									2品種計									
	支 店	下甘田	加茂	志加浦	上野	中甘田	土田	富来	堀松	下甘田	加茂	志加浦	上野	中甘田	土田	富来	堀松	下甘田	加茂	志加浦	上野	中甘田	土田	富来	堀松			
部カメ	H22	0.3	6.6	8.9	3.8		5.2	10.9	3.5	6.2	5.2	3.1	1.1		2.8	7.2	6.1	3.7	4.3	1.4	4.7	7.4	2.2	0.8	5.8	9.8	3.5	5.7
	H23	0.2	1.9	7.3			0.7	5.7	1.1	3.1		2.2		2.8	0.0	0.6	9.7	1.3	3.3	0.1	2.0	6.0	1.2	0.0	0.6	6.6	1.2	3.1
	H24	0.5	3.7	4.9	1.0		7.3	2.1	1.9	2.5		4.2	2.0	1.0		9.6	2.2	2.5	2.9	0.3	3.9	4.5	1.0		8.1	2.1	2.1	2.6

*網掛けは、前年より低下した項目

1. 発生の特徴

- ・ゆめみづほで落等要因の中で最も割合が大きい。
- ・地域別に見ると、本年は山側集落での落等が多かった。

2. カメムシ生息調査から見たカメムシ類の発生状況

○雑草地（7月4日調査）

一地点あたりの平均捕獲頭数は4.00頭と前年より多く、捕獲地点率は80.0%とほぼ前年並である。種類別では、飛翔性が7割と前年より増加し、特にアカスジが1.65頭/20回振りと多かった。

年次	地点当たり捕獲頭数（頭）		捕獲地点率%
	うち飛翔性（割合）		
H 22	3.04	1.78 (59%)	86.5
H 23	3.49	1.71 (49%)	80.5
H 24	4.00	2.68 (67%)	80.0

○本田（7月26日調査）

一地点あたりの平均捕獲頭数は1.9頭と前年並であった。捕獲地点率は全体で60%と前年より低下しているが、地域別で見ると、富来地区で捕獲頭数が多く、捕獲地点率も依然として高い。

調査地点	トゲシラ	コバネ	ホソハリ	アカヒゲ	アカスジ	クモヘリ	その他	計	捕獲地点率
H 23	0.10	0.32	0.18	0.04	1.32	0.00	0.13	2.1	95%
H 24	0.18	0.01	0.19	0.15	1.21	0.16		1.9	60%
旧志賀町	0.03		0.05	0.03	0.39	0.11		0.6	32%
旧富来町	0.31	0.02	0.31	0.26	1.95	0.21		3.1	86%

3. 今年度の防除の状況

○雑草地の除草の徹底

- ・畦畔除草は概ね適切に実施された。

○出穂期以降の2回防除の徹底

- ・カメムシの総防除回数は1.50回とH22年から同程度で推移している。
- ・無人ヘリ防除面積は微増する傾向にある。
- ・個人防除、無人ヘリ防除ともに、降雨も少なかったことから、概ね適期に実施された。

区分	防 除 率			無人ヘリ防除面積			カメムシ防除回数（回）		
	H 22	H 23	H 24	H 22	H 23	H 24	H 22	H 23	H 24
出穂期	70.8	69.4	71.1	581	629	666	1.5	1.48	1.5
傾穂期	71.1	70.0	73.3	617	633	680			

4. 今年度の結果を踏まえた次年度の防止対策

○雑草地の除草の徹底

- ・引き続き除草の徹底を図りましょう。

○出穂期以降の2回防除の徹底

- ・省力的かつ広範囲の一斉防除が可能な無人ヘリ防除が効果的です。
- ・粉剤防除及び無人ヘリ防除が困難な地域では、引き続き長期残効型の粒剤体系を実施しましょう。

平成24年産米品種別検査結果及び 主な落等理由、次年度対策について

◎ 品種別（コシヒカリ、ゆめみづほ）検査結果

平成24年産米の1等米比率は、高温時における幼穂形成期以降の飽水管理や登熟期間の水管理の徹底、斑点米防止対策、気象情報に即しての夏バテ防止策（コシヒカリ葉色4.0以下の上乘せ追肥）、高温年における適期収穫の実践によって向上し、全体で91.6%と好結果でありました。

H22～H24 品種別検査結果（1等米比率） (単位：%)

	平成22年産	平成23年産	平成24年産
コシヒカリ	78.6	88.8	90.9
ゆめみづほ	75.7	89.8	93.3
品種計	77.8	89.1	91.6

◎ 品種別主な落等理由と平成25年度対策

I. 乳白粒

(表) 品種別2等以下格付理由割合の3か年の推移

品 種	コシヒカリ										ゆめみづほ								2品種計									
	支 店	下甘田	加茂	志加浦	上熊野	中甘田	土田	富来	堀松		下甘田	加茂	志加浦	上熊野	中甘田	土田	富来	堀松		下甘田	加茂	志加浦	上熊野	中甘田	土田	富来	堀松	
心白 + 腹白	H22	8.3	6.6	4.6	8.4	8.8	13.9	6.9	6.3	7.9	7.9	15.7	18.1	8.3	2.4	14.3	26.7	8.2	15.2	8.2	11.5	7.3	8.4	7.0	14.0	11.4	6.8	9.9
	H23	0.3	4.4	0.8	1.6	0.7	8.2	6.8		3.9							1.3		0.3	0.2	2.2	0.7	0.9	0.5	5.4	5.5		2.9
	H24			0.9	1.2		2.5	6.4	0.4	2.7	3.9								0.6	1.2		0.8	0.7		1.6	5.0	0.4	2.1

*網掛けは、前年より低下した項目

1. 発生の特徴

- ・依然、コシヒカリにおいては、落等の1番の要因となっている。

2. 生育状況と発生の要因

- ・軟弱徒長苗や老化苗が見られ、植え傷みが発生したが、5月下旬以降の天候の回復とともに、初期分けつの発生は順調で生育は回復した。
- ・好天により分けつ期の生育は旺盛となったが、中干しが不十分であった地域を中心に最高分けつ期以降の茎数淘汰が遅れ、遅発分けつが多くなった。
- ・生育期間を通して日照時間が確保され、かつ梅雨明けがやや早くその後高温多照となったことから、幼穂形成期の草丈伸長は抑えられ倒伏は比較的少なかった。
- ・登熟期間も高温多照傾向は続き、日照が確保されたものの、少雨により一部地域では水不足となり、通水が不十分となったため登熟が不良となった。遅発分けつの発生で登熟がばらついてきたこと、高温登熟という条件が重なり、乳白粒の発生を招いたと考えられる。

(一部水利条件が不利なところを除いて中干しの適期実施や飽水管理の徹底がなされ、全体における乳白粒の発生は減少した。)

3. 今年度の結果をふまえた次年度の防止対策

- ・初期生育を確保するため、播種時期や育苗管理を徹底しましょう。
- ・中干しを適期に、確実に実施することにより適正生育量への誘導と、稲体の健全化を図りましょう。
- ・中間追肥を施用し、根張りの促進、稲体の強化を図りましょう。
- ・幼穂形成期以降は、飽水管理・間断通水に努めるとともに、高温時の湛水は、根を傷める原因となるので、行わない。高温が続く場合には、掛け流しや夜間通水等の対策を行う。

JAポイントサービス

JAのご利用をもっと楽しく！
もっとお得に！

JAご利用で
ポイントを貯めて
増やして得をする！

- JAとのお取引に応じてポイントが貯まります！
- 貯まったポイントは年に1回キャッシュバックで還元します！

ポイントを貯めるには

ポイント付加項目	ポイント付加単価	付加ポイント
貯金残高(20万円以上)	20万円ごと	毎月1ポイント <small>(上限50ポイント)</small>
貸出金残高(20万円以上)	20万円ごと	毎月1ポイント <small>(上限100ポイント)</small>
給与振込・年金受取	各取引1項目につき	毎月10ポイント
公共料金自動支払		
JAカード利用		
家庭用ガスの利用	ご利用金額 200円ごと	1ポイント
肥料・農薬・農機の購入	ご利用金額 300円ごと	1ポイント
一般資材・食料品・衣料品の購入	ご利用金額 500円ごと	1ポイント
自動車・耐久資材の購入	ご利用金額 1,000円ごと	1ポイント
米の出荷	ご利用金額 500円ごと	1ポイント
野菜・果実の出荷	ご利用金額 1,000円ごと	1ポイント



ポイントカードと一体となっている
クレジットカードタイプもあります！



クレジット・キャッシュカード一体型 クレジットカード単体型

※組合員以外の方はポイントの付き方が変わります

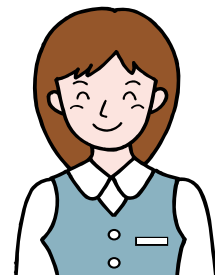
～確定申告は当 JA で受付いたします～

【平成26年1月から記帳・帳簿等の保存制度の対象者が拡大されます】

これまで、個人の白色申告者のうち前々年分あるいは前年分の農業所得金額の合計が300万円を超える方に必要とされていた記帳と帳簿書類の保存が、平成26年1月からは、これらの所得を生ずべき業務を行う全ての方(所得税の申告の必要のない方を含みます。)について必要となります。

JAのシステム『確定申告支援用科目集計表』(利用料1,260円/年)をご利用になるとスムーズに確定申告を行え、制度変更にも対応でき大変便利です。ご指定の口座の年間収支(申込月～12月末)をまとめてあり、記帳や細かい計算をする手間も省けます。

ぜひ、ご利用になって下さい。



お近くの
JA窓口へ

お申し込み
お問い合わせ
はこちら

本店 32-1155
加茂支店 36-1211

中甘田支店 32-0205
上熊野支店 38-1231

下甘田支店 36-1131
土田支店 37-1111

志加浦支店 32-0342
富来支店 42-2111